

#### 日本環境整備教育センター理事

### 大森 英昭氏



道内の汚水処理人工普及率は平均で八九七・二〇三年度末、一万人未満の市町村平均は六二・六％に過ぎず、各自治体とも財政再建が迫られる一方、生活排水処理施設の整備が大きな課題となっている。浄化槽の整備事業はかねて補助事業に位置付けられていたが、新年度から「循環型社会形成推進交付金」に移行されるなど、浄化槽行政の動きは大きく、浄化槽法も年内にも改正される見通いだ。浄化槽業界の展望と課題は何か。日本環境整備教育センターの大森英昭理事に聞いた。

―法改正で何が変わるのか。  
 浄化槽法の目的に公共用水域の水質保全が水質保全を盛り込むことで、都道府県市町村にとって浄化槽を活用する明確な根拠が成り立つ。下水

(第一報道部・石橋 明治記者)

道法では公共用水域の水質保全が目的にうたわれているが、浄化槽法ではどうした文言がなかった。これからは筆々と計画できることだ、放流水の基準が示されること

## 自治体の財政負担、大幅に改善

水質保全対策への根拠は強化される。行政庁が浄化槽を活用するチャンスはうんと増大するだろう。

浄化槽を活用することで、自治体の将来の財政負担は大幅に改善される。わたしは浄化槽が日本全国の生活排水対策の助け舟だと思っている。日本下水道協会が発行する下水道統計を見ると、全国この市町村がどういう事業をやっているか、使用料収入が管理費の何％、赤字補てんに一般会計から基準外の繰り出し金をいくら出している

## 浄化槽は水資源の生産施設

か大部分分る。日本の下水道は処理原価に対して使用料金が安すぎる。処理原価の大半は管理費で、大半は下水道起債の元利償還費。今の使用料ではこれを回収することができず、特に人口五万人以下の自治体の回収率は無きに等しい。環境対策と財政対策を同時にやろうと思つたら、下水道管きよ布設と住宅密度の関係を見直し

大森 英昭氏(おおもり・ひであき)1933年生まれ、ソウル市出身。昭和薬大卒。阪大薬学部助産、長野県の一下水道のあり方検討委員会委員長手、大阪府公衆衛生研究所などを経て現職。し尿処を務めている。

かない。浄化槽業界にとって追い風になるのか。われわれは浄化槽が善で下水道が悪という感覚は持っていないが、設置される地域の建築の形態によつてそれが最も有利かを考えた場合、浄化槽が行政両方から脚光を浴びるのは間違いない。小規模工事が多いため、地域業者、地元業者が参加できる機会がたくさんある。その地域の経済活性化代にもなる。だからこそ施工業者、保守点検業者、清掃業者は自らの

社会的責任を今以上に強く認識しなければならぬ。万一、不良工事などが起きるようではユーザーからの信頼を失う。大事なことは発注してくれる以上に発注して心配がないという業界体制をいかに確立するかだ。業界を一歩出ると、浄化槽に対する認識は落差が大きい。業界自体の責任でもあり、身内には通達の話でも第三者

社会に対して浄化槽のPRをすることも大事だ。

―単独処理浄化槽の問題について意見を聞きたい。浄化槽法の改正で二〇一一年から単独処理浄化槽の新設が禁止されたが、いまだに全国で七百八百万基の単独処理浄化槽がある。これがぐくわすかな自治体を除いて放置されている。単独処理浄化槽は厨房排水などのような汚濁負荷の大きい雑排水を未処理で放流するだけでなく、トイレのし尿による汚濁負荷も大きい。これを合

併処理浄化槽にする汚濁物質の除去率は九〇％以上になる。単独処理浄化槽の見直しと合併処理への転換が行政事業として大きく出てきたら業界で対応できるかどうか分からないほど大変なことになる。ただ、公共用水域の水質保全の目的を達成するには単独処理を合併に変えていくことを強力に押し

進めなければならない。問題は都道府県が旗を振って市町村がそれを受けて対策事業を構築できるかどうか。敷地内配管の引き直しなど、技術的課題もある。工場生産浄化槽のようなマニュアル化された施工技術だけでは難しいし、流通機構も違う。コンクリートの役割もこれからの浄化槽工事業界は持たなければならない。

―これからの業界の役割をどう考えるか。

わたしは浄化槽は水資源の生産施設という考えを持っている。下水道は大きくなればなるほど遠くで処理するための水資源としてはもつたないことになってしまふ。各地区の下水道で供給した水を浄化槽で個別処理して放流することは、その地域全体に水を供給することになる。

法にはないが、散水、洗車、緊急災害時の防火用水などに水を再利用することも技術的には可能だ。消毒後の放流水をタンクに入れてポンプを付けて敷地内で使いたい。いろいろな放流すればいい。再利用のシステムを組み込むことで相当の雑用水が賄われる。業界にはこうした分野で付加価値の高い関連技術を開発し、実行してもらいたい。